

【2014 国税専門官 専門試験（記述式）】

1. 憲法

内閣提出の重要法案が衆議院で否決されたため、内閣総理大臣Aを首長とする内閣は、衆議院を解散することを決め、衆議院は解散された。

衆議院議員であったBは「衆議院の解散権の根拠は憲法第69条であり、衆議院の解散は、同条が規定する、内閣不信任決議案が可決された場合又は内閣信任決議案が否決された場合に限られる。よって、今回の解散は違憲である」と主張している。

この主張に対し、憲法上どのような反論が可能かについて、解散権の根拠に触れながら、論じなさい。

2. 民法

次の事例における、A C間及びB C間の法律関係を論じなさい。

（事例）

Aの子であるB（8歳児）は、通りすがりのCを故意にカッターで切りつけ、切り傷を負わせた。Bは以前から、カッターを振り回して他人を危険にさらす行為を度々行っていたが、Aは、そのことを把握しながらも、Bに特段の注意をすることもなければ、カッターを取り上げることもしなかった。Cの症状は、Cが出血の止まらなくなる持病を患っていたことにより悪化し、Cは長期間の入院を余儀なくされた。

3. 経済学

インフレーションに関する次の問いに答えなさい。

（1）フィリップス曲線について、以下の用語を用いて説明しなさい。なお、解答に当たっては、図を用いて説明すること。

用語：失業率、物価版フィリップス曲線

（2）下記モデルにおいて、総供給曲線及び総需要曲線が時間の経過と共にシフトし、 Y が Y_F に一致するまでのプロセスについて説明しなさい。なお、解答に当たっては、図を用いて説明すること。

$$\text{動学化された総供給曲線} \quad \pi_t = \pi_t^e + Y_t - Y_F$$

$$\text{動学化された総需要曲線} \quad \pi_t = 1 - (Y_t - Y_{t-1})$$

$$\text{インフレ期待形成} \quad \pi_t^e = \pi_{t-1}$$

$$\text{ただし, } \pi_0 = 1, Y_{-1} = 1, Y_F > Y_{-1}$$

なお、 π ：インフレ率、 π^e ：期待インフレ率、 Y ：GDP、 Y_F ：完全雇用GDPとし、添え字 t は時間（期初（第0期）は $t = 0$ ）を表す。

- (3) 合理的期待形成仮説について、その前提に触れながら説明しなさい。また、当該仮説の下における財政金融政策（裁量的なケインズの経済政策）の効果についても説明しなさい。

4. 会計学

有形固定資産の減価償却に関する次の問いに答えなさい。

- (1) 減価償却の目的及び効果について説明しなさい。
- (2) 減価償却費の計算は、耐用年数又は利用度を配分基準として実施されるが、そのうち、耐用年数を配分基準とする方法について説明しなさい。
- (3) 減価償却は、その償却単位の設定について個別償却と総合償却の二つに分類される。これに関して、次の 及び に答えなさい。

個別償却と総合償却のそれぞれについて説明しなさい。

固定資産の耐用年数到来前に除却した場合と耐用年数を超過して固定資産を使用した場合の個別償却と総合償却との相違点について説明しなさい。

5. 社会学

「役割」について次の問いに答えなさい。

- (1) 「役割葛藤」について具体例を挙げながら説明しなさい。
- (2) 「役割」の形成について論じなさい。